

警察犬と考えよう
犬のトラブル解決法

第2回

“あなたと犬のきずなは？”

活動報告書

・日時：平成24年1月22日（日） 13:30～15:30

・場所：静岡市葵区 駿府公園 ヘリポート北側

・タイトル： 「犬とあなたのきずなは？」

《ワンちゃん しつけ教室》 ～犬と共に幸せに暮らすために～

・対象： 23組 （飼い犬1頭とその家族）

・主催： 静岡市

・企画・運営： 犬の会

・参加者 23組 [葵区11名 駿河区7名 清水区5名]

・アンケート回収 23枚（全員）

成果報告

ワンちゃんしつけ教室（犬と共に幸せに暮らすために）

静岡県協働パイロット事業『警察犬と考えよう！犬のトラブル解決法』の第二回として計画、平成24年1月22日（日）に実施された。

事業全体の目的は「犬の飼い主を含む一般市民に対し、適切なしつけを施した犬を使った講習を行うことで飼い主へのしつけの重要性を意識づける」ことであり、このしつけ教室は実践的に実際の犬の飼い主にしつけの方法を指導した上で、犬の飼い主の意識改革に取り組み、犬の問題行動の軽減につなげようとするものである。

市役所公園整備課に寄せられる犬とその飼い主の公園の利用方法に対する苦情の多さから、今回の事業、犬の会の活動に理解・期待を寄せて頂き、多くの人の目に触れる市の中心部・駿府公園で開催した。

ポスター・チラシ、獣医師会との連携、市民生活課によって多くの媒体に広告を載せることができた。定員20組に対し、85組もの応募があった。

実施にあたっては、事故の無いことを一番の念頭に置き、十分な準備を行った。コーン、バーで会場を囲み、専任の警備を配置し、危険や注意を促すための笛、犬の逃亡を追いかけるための自転車、興奮した犬にかける為の水、救急箱を用意し、休日当番医の把握をし、救護人を事前に決め、万全の体制を取った。

警察犬のデモンストレーションは、犬の高い能力に注目してもらい、自分の犬にも訓練・しつけ方法で応用できる能力を持つことを再認識してもらい、意欲を高めるのが目的である。見学者からは拍手や歓声が上がり、参加者のみならず公園に来ていた人々、犬を飼っていない人々からも注目を浴びた。講習後に実施したアンケートによれば、参加者全員がデモンストレーションを「良かった」と評価しており、感想にも「警察犬のようにしつけたい」とあり、講習を通して、参加者の意欲がさらに高まったといえる。

実技前の指導としては、普段の犬との接し方について一般の人に分かり易いよう実際に犬を使って説明した。この実技指導の目的は、犬の本能を理解してもらい、飼い主が犬にとっての強いリーダーになることで、牽制症候群などの犬の問題行動を防止することである。犬の服従本能を高め、主従関係を明確にすることで今後のしつけの必要性と大切さを強調した。この内容については、参加者全員が「勉強になった」とのアンケート結果が出ている。加えて、「新たに飼い主としてしつけで大切だと思ったことは？」という設問に対して、87パーセントの参加者が「リーダーウォーク」を挙げていることから、理解が深まったことがわかる。参加者からは、「何のしつけをするにも、しっかりとした上下関係が重要だと感じた」との感想が寄せられた。

実技指導では、小型犬・中型犬・大型犬の3グループに分かれて行った。これは個体の大きさだけでなく特性の違いもあるため、指導が理解され易いように上記のようなグループ分けとなった。小型犬8頭・中型犬8頭・大型犬7頭、計23頭に各3名の担当者を

配置した。担当者は犬種ごとの特徴の違いや性質などを質問を通して見極めた上で、適切な指導をきめ細かく行った。アンケート結果では、参加者全員が「役に立った」と評価している。アンケートに寄せられた意見としては、「親切な指導でわかりやすかった」「丁寧に教えて頂いた」「とてもわかりやすく、すぐに効果が表れた」「今後犬ともっと楽しく接していくためのしつけを教えて頂いた」「継続することが大切だとわかった」「実践したしつけの方法を教えて頂き参考になった」とあった。この結果からも、この実技指導が参加者にとって大変有意義なものであったことがうかがえる。

次に、実技指導で参加者にみてもらったのが家庭犬用のクレートトレーニングであった。クレートトレーニングの必要性は、第一回の講習会でも繰り返し述べられていたが、実際に「ハウス」のひと声で躊躇なくクレートに入る会員の犬を見ることで、クレートトレーニングがしつけの延長線上に位置づけられている重要なトレーニングとして理解してもらった。警察犬だけではなく家庭犬においても、「正しいしつけ・服従訓練の継続」、「繰り返ししつけを行う」、「しつけに一貫性を持つ」、「褒めて、良い事と悪い事の違いを分からせる」などが犬のしつけにおいて重要であると理解する機会になった。アンケートによれば、「しつけで大切だと思ったことは？」という設問に対して、参加者の半数以上が上記の項目を挙げている。また、「実技指導を終え、これからも実践してみようと思うか？」という設問には、参加者の全員が「実践したい」と答えている。その理由としては、「犬との接し方が変われば犬も変わると分かったから」と答えており、参加者の意識が確実に変わったと考えられる。飼い主自身が変われば、しつけで困っている事が改善できることを理解してもらえた結果ともいえる。

最後に、アンケートの「今後このようなしつけ教室に参加したいか？」という設問には、96パーセントの参加者が「参加したい」と回答している。講習に対する感想・意見・講師へのメッセージには「これからも続けます」「また参加したい」「講習会を引き続き開いてほしい」「月1回ぐらい続けてやって欲しい」「ぜひまたこのようなしつけ教室の開講をお願いしたい」「家でも続けていきたいと思うが、また講習を開いてほしい」との意見が多数寄せられ、この事業における意義が参加者に十分に伝わったと考えられ、本講習会の成果は大きいものであったと言える。

最後に、静岡県獣医師会からのチラシの配布のご協力、並びに動物指導センターと動物愛護館からの放送機器・コーン&バー等の道具提供、また、公園整備課からの駿府公園の快い会場提供に改めて感謝したい。

アンケート用紙

「ワンちゃん🐾しつけ教室」 アンケート

2012.1.22

1) この講習をどこで知りましたか？ (複数回答可)

静岡市広報誌 獣医 図書館 体育館 児童館 生涯学習施設 ラジオ
新聞 インターネット 友人知人 ペットショップ ・その他 ()

2) この講習を受講しようと思った動機は何ですか？ (複数回答可)

- ・基本的なしつけを身につけさせたかったから
- ・警察犬に関心があったから
- ・しつけで困っていることがあったから
- ・犬との生活を楽しみたかったから
- ・他の犬との交流を持ちたかったから
- ・その他 ()

3) 受講していかがでしたか？

★警察犬などのデモはどうでしたか？

- ①とても良かった ②良かった ③普通 ④悪かった ⑤とても悪かった

★実技指導前説明の内容はどうでしたか？ (犬との接し方)

- ①とても良かった ②良かった ③普通 ④悪かった ⑤とても悪かった

★しつけ実技指導の内容はどうでしたか？

- ①とても良かった ②良かった ③普通 ④悪かった ⑤とても悪かった

4) 受講後新たに、飼い主としてしつけで大切だと思ったものは何ですか？

(該当するもの全て)

- ・アイコンタクトを取らせる
- ・リーダーウォークをする
- ・犬に社会性を身に付けさせる
- ・しつけに一貫性を持つ
- ・繰り返ししつけを行う
- ・犬を擬人化しないで犬として接する
- ・遊びの中でしつける
- ・誉めながらしつける
- ・犬に全身どこでも触らせるようにする
- ・犬の本能や習性を理解してしつける
- ・自分の犬の性格を理解してしつける
- ・その他 ()

5) 受講してみて、習ったことをこれからも実践してみようと思いますか？

- ・実践したい →Aへ

- ・実践してみようとは思わない →Bへ

A) 実践しようと思う理由は何ですか？ (複数回答可)

- ・飼い主が変われば犬も変わるとわかったから
- ・しつけの効果を実感できたから
- ・自分の犬に適したしつけ方法がわかったから
- ・知らなかったしつけがあったから

B) 実践しようと思わない理由は何ですか？

()

6) 今後このようなしつけ教室に参加してみたいですか？

- ・参加したい

- ・参加したいと思わない

- ・その他 ()

7) 講習の感想、ご意見、講師へのメッセージなど何でもお書きください。

[]

● 活動内容報告

平成24年1月22日静岡市葵区駿府公園内ヘリポート北側にて、「ワンちゃんしつけ教室」を開催した。午後1時30分から午後3時30分までの2時間、犬の飼い主と飼い犬の23組に対して、犬のしつけ方の講習及び指導を行った。

社団法人日本警察犬協会静岡県中部支部副支部長でもある犬の会会員による今回のしつけ教室の意義、犬の会の成り立ちの紹介などを含む開会の挨拶を終えた後、参加者全員に注意事項などの説明を行った。

講師は犬の会会員によるもので、自身の静岡県嘱託警察犬と共に、デモンストレーションとして、足跡追及・臭気選別・警戒作業・服従作業の4科目に加え、リーダーウォーク、マズルコントロール、タッチング、家庭犬のクレートトレーニングなどを実際に行うところを参加者に見てもらい、参加者のしつけに対する理解や意欲を高め、自分の犬のしつけに応用できるよう指導を行った。

ポスター・チラシ・広報などにより事前に募集した結果、定員20組に対し、85組の応募があり、小型犬・中型犬・大型犬にグループ分けし、補欠を含む23組を抽選にて決定した。雨天の場合は2月5日としていたが前日の雨も上がり、1月としては風もなく暖かい日の実施となった。

当日は1組の欠席もなく、飼い犬23頭と飼い主の家族を含めた53名が参加した。また、見学は自由としたため、公園入り口に立てた看板や広報等を見た見学者や、本講習には落選してしまったがしつけ方法を学びたいと来場した熱心な見学者は157名にものぼった。開催地が静岡市の中心部という場所柄や日曜日に開催されたこともあり、散歩に訪れた公園利用者から子供に至るまで、幅広い一般市民の目に触れる開催となった。

講習終了後には質疑応答を行い参加者にアンケートを記入してもらい、回収し閉会の挨拶にてしつけ教室終了とした。2時間という短い時間ではあったが、参加者全員が意欲的に取り組み、実りの多い講習となった。

最後に、静岡市獣医師会からのチラシ配布のご協力、並びに動物指導センターと動物愛護館からの放送機器・コーン&バー等の道具提供、また、公園整備課からの駿府公園の快い会場提供に感謝したい。

アンケート集計結果及び考察

しつけ教室の講習を終えた受講生 23 組（飼い犬 1 頭とその家族）に対して、その講習内容についてアンケート調査を実施しました。その結果を報告いたします。

1) この講習をどこで知りましたか？ 《回答数：23》

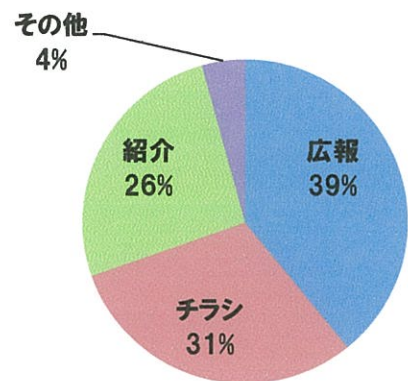
【回答】

- ・静岡市広報（9人）…「静岡気分」1月1日号掲載
- ・チラシ（7人）… 獣医・図書館・体育館・愛護館
- ・紹介（4人）… 友人・知人・市のしつけ教室参加者
- ・その他（1人）… 市のホームページ（インフォメーション）

【考察】

参加者の募集に当たっては、ポスター・チラシ、獣医師会との連携、市民生活課によって多くの媒体に広告を載せることができた。特に広報は、掲載から募集締切日までわずか10日間であったが、広報で情報を得た応募者が最も多かった。いかに市内各戸に配布される市広報誌の情報が行き渡っているかを示しており、市と協働したことの大きな成果となった。次にチラシの効果も大きく受講者の1/3を占めた。市の公共施設だけでなく、市獣医師会の協力も得て多数置いてもらったことがチラシの効果の高さにつながった。また、紹介からの参加者も1/4占めている。

講習をどこで知りましたか？



2) この講習を受講しようと思った動機は何ですか？（複数回答可・選択肢 5）

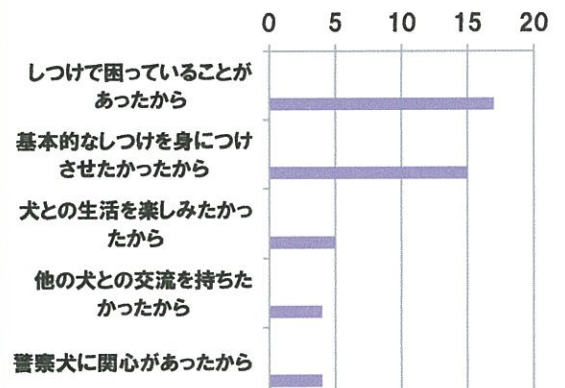
【回答】

- ・しつけで困っていることがあったから（17人）74%
- ・基本的なしつけを身につけさせなかったから（15人）65%
- ・犬との生活を楽しまたかったから（5人）22%
- ・他の犬との交流を持ちたかったから（4人）17%
- ・警察犬に関心があったから（4人）17%

【考察】

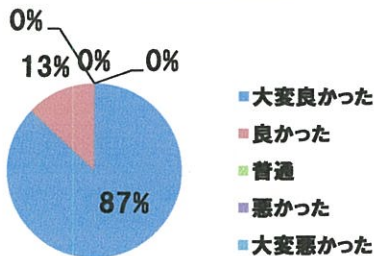
受講者の大半の人（74%）が飼い犬のしつけに困り、しつけの重要性を感じて参加されていることがうかがえる。受講者が、困った飼い犬の問題行動の対処法や改善策を求めて参加したことがわかる。また、犬との生活を楽しまたい、飼い犬を通じて仲間づくりしたいと考える人が増えているのも最近の傾向のようだ。今やペットとしての犬は、家族の一員としての地位をゆるぎないものとしていることがいえる。

受講の動機は何ですか？



3) 受講していかがでしたか? <回答数:23>

警察犬などのデモ

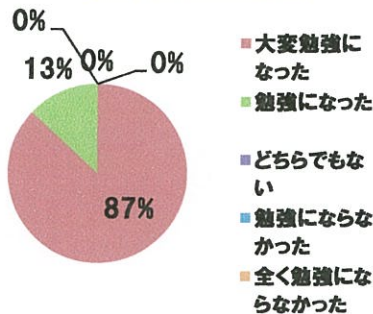


警察犬などのデモはどうでしたか?

【回答】

- ・大変良かった (20人)
- ・良かった (3人)
- ・普通 (0人)
- ・悪かった (0人)
- ・大変悪かった (0人)

実技指導前説明

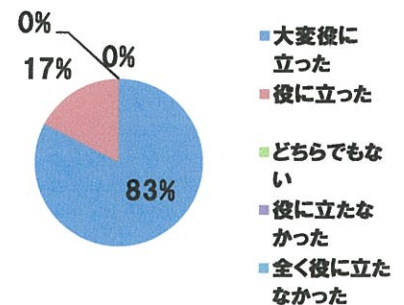


実技指導前説明はどうでしたか?

【回答】

- ・大変勉強になった (20人)
- ・勉強になった (3人)
- ・どちらでもない (0人)
- ・勉強にならなかった (0人)
- ・全く勉強にならなかった (0人)

しつけ実技指導



しつけ実技指導はどうでしたか?

【回答】

- ・大変役に立った (19人)
- ・役に立った (4人)
- ・どちらでもない (0人)
- ・役に立たなかった (0人)
- ・全く役に立たなかった (0人)

【考察】

今回の講習会は、【デモンストレーション】【実技指導前の説明(講義)】【しつけの実技指導(実践)】の3部構成で行った。すべてのプログラムにおいて受講者全員から良かったとの感想をいただいた。

最初に警察犬のデモを見ていただくことで、犬の高い能力に注目してもらい、自分の犬にもその能力があることに気づいてもらってしつけへの意欲を高めるのがねらいであった。

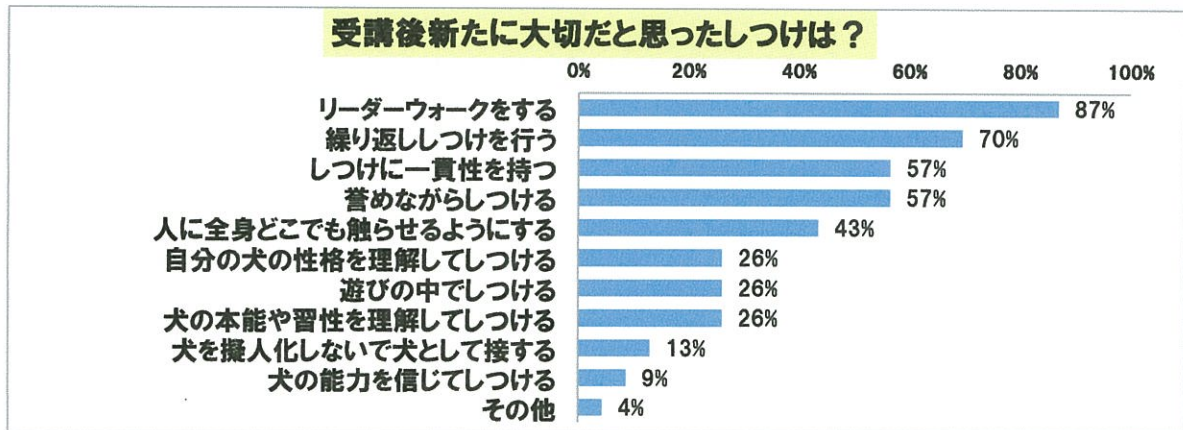
見学者から拍手や歓声が上がり、受講者のみならず公園に来ていた人々、犬を飼っていない人々からも注目を浴びた。受講者から「警察犬のようにしつけたい」と意欲的な感想もいただいた。

次に、実技指導を行う前に、犬をしつけるにあたっての有効な「犬との接し方」を、実際に犬を使いながら説明を行った。犬のしつけには犬の習性や本能を理解することが不可欠であり、犬と飼い主との主従関係がしつけの基本であることなどを受講者に説明することで実技指導の充実につなげることができ、このような評価を得ることができたように思う。

また、実技指導においても全員から「役に立った」と評価をいただいた。この講習会が受講者にとって大変有意義なものとなったことがうかがえる。

4) 受講後新たに、飼い主としてしついで大切だと思ったものは何ですか？

(該当するもの全て・選択肢 10)



【回答】

- ・リーダーウォークをする (20人)
- ・繰り返ししつを行う (16人)
- ・しつに一貫性を持つ (13人)
- ・誉めながらしつ (13人)
- ・人に全身どこでも触らせるようにする (10人)
- ・自分の犬の性格を理解してしつ (6人)
- ・遊びの中でしつ (6人)
- ・犬の本能や習性を理解してしつ (6人)
- ・犬を擬人化しないで犬として接する (3人)
- ・犬の能力を信じてしつ (2人)
- ・その他 (1人)

【考察】

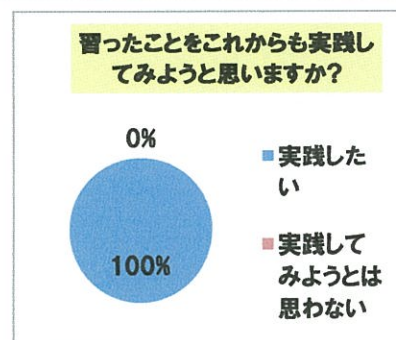
実技指導の受講後新たに大切だと思ったしつに、「リーダーウォークをする」が23人中20人と受講者の9割近い人が重要なしつと認識したことがわかる。犬を人間より先に歩かせないリーダーウォークは、犬の安全を守るだけでなく、しつの大前提である主従関係（飼い主がリーダーであること）を犬に伝えるのに最も効果的な方法であることを理解してもらえたようだ。いかに犬任せに散歩している飼い主が多かったとも考えられる。

また、「繰り返ししつを行う」「しつに一貫性を持つ」「誉めながらしつ」「人に全身どこでも触らせるようにする」においても、受講者の約半数の人が受講後重要と感じているのが分かる。講習を通じて飼い犬のしつに対する意識変化がみられる。

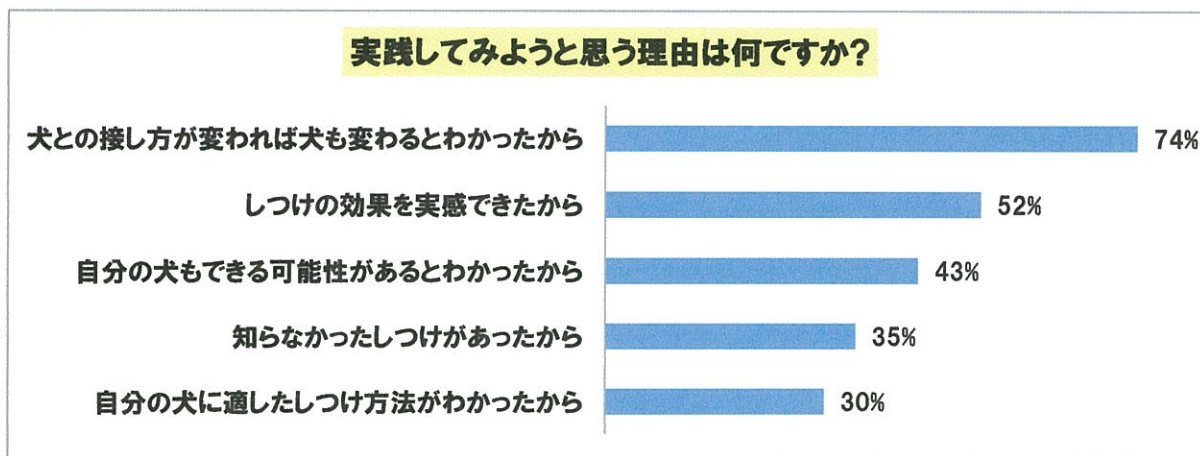
5) 受講してみて、習ったことをこれからも実践してみようと思いますか？ <回答数：23>

【回答】

- A) 実践したい (23人)
- B) 実践してみようとは思わない (0人)



A) 実践しようと思う理由は何ですか？ (複数回答可・選択肢 5)



【回答】

- ・犬との接し方が変われば犬も変わるとわかったから (17人)
- ・しつけの効果を実感できたから (12人)
- ・自分の犬もできる可能性があるとうわかったから (10人)
- ・知らなかったしつけがあったから (8人)
- ・自分の犬に適したしつけ方法がわかったから (7人)

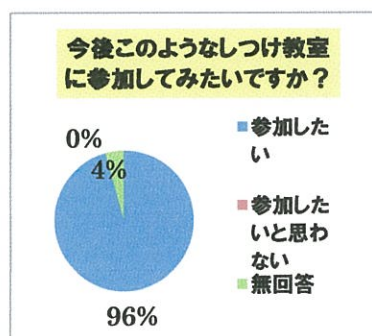
【考察】

受講生の全員から、この講習で習ったことを「実践したい」との回答をいただいた。その理由に、74%の人が「犬との接し方が変われば犬も変わるとわかったから」と答えている。これは、飼い主自身が変われば状況が改善できることを理解してもらえたようだ。人間の目から見ると窮屈な世界に見える犬社会ではあるが、犬にとってはリーダー（飼い主）に服従するようしつけてこそ犬は安心して平和な暮らしができ、そしてそれが周囲にも迷惑をかけず、なおかつ自分も快適な生活が送れるものである。半数の人がたった1回の講習でそのことを理解し、しつけの効果を実感しているのも、受講者がこの講習を通して「犬との接し方を変えれば犬も変わる」と認識した上で、しつけのやり方が変わったからと考えられる。

6) 今後このようなしつけ教室に参加してみたいですか？ <<回答数：23>>

【回答】

- ・参加したい (22人)
- ・参加したいと思わない (0人)
- ・無回答 (1人)



7) 講習の感想、ご意見、講師へのメッセージ

- ◆訓練士の方(犬の会の人)にリーダーウォークをやっていただいたのがとてもよかった。
指導してもらってとても参考になった。
- ◆デモンストレーションがとても印象的だった。
警察犬を見る機会がなかったのでとても貴重な時間を過ごせた。
- ◆親切なご指導でわかりやすかった。これからも続けたい。
- ◆子犬ではないが、まだ間に合いそうなので、犬と人間の関係を築いていきたい。
- ◆何のしつけをするにも、しっかりした上下関係が重要と感じた。
警察犬のようにしつけたいと思った。
- ◆とても参考になった。
- ◆丁寧に教えていただきありがとうございました。家でも続けていきたいと思いますが、
また講習を開いて欲しい。
- ◆勉強になった。また参加してみたい。
- ◆この度は大変ありがとうございました。
- ◆とてもわかりやすく、すぐに効果があらわれた。
- ◆1頭ずつ実践的なトレーニングができたのもっとよかった。
他の方の悩みなど聞けてよかった。
- ◆今後犬とより楽しく接していくためのしつけを教えてください良い一日となった。
- ◆ぜひまたこのようなしつけ教室の開講をお願いしたい。
- ◆人間によって犬を駄目にしないよう家族全員で頑張りたい。まずは甘やかさないようにしたい。
- ◆継続することが大切だとわかった。ありがとうございました。
- ◆実践したしつけの方法を教えてください参考になった。
- ◆月1回ぐらい続けてやって欲しい。

【最後に】

受講者募集にあたり、85名の応募者から申込時に飼い犬のしつけでの困り事を調査した。自分の犬の問題行動に悩まされ、その対処法がわからずストレスを感じている飼い主も少なくないことがこの講習会の開催を通してわかった。

受講者だけでなく見学者からも、「またこのようなしつけ教室を開催して欲しい」との要望が多数寄せられた。

短い時間ではあったが、愛犬と快適な生活が送れるよう習ったしつけを継続したいとの感想をいただき、受講者にとって実りのある講習会となったことが分かる。

これらのアンケート結果から参加者が受講後しつけに対する意識に変化が表れていることがわかったが、犬のしつけは短期間でできるものではないので、その気持ちを持ち続け毎日継続して行ってもらいたい。そして繰り返し行う中で飼い犬との信頼や絆を深めてもらい、犬と共に幸せな暮らしを送ってもらおうことを願っている。

限定

20組



あなたと犬のきずなは？警察犬と考えよう！

ワンちゃん🐾しつけ教室

犬と共に幸せに暮らすために



無料講習

愛犬のことが
もっと好きになる
ための講習会だ
よ！ 🎵🎵🎵



しつけは、犬と人間が
幸せに暮らすための
パスポートなんだね！



警察犬の
デモンストレーションも
やるよ！（13:50～）
見に来てね！！



スフレ



サガセ



タテ

日時

平成24年 1月22日(日) 13:30～15:30 (雨天の場合は2月5日に延期)

場所

静岡市葵区 駿府公園 (ヘリポート北側)

定員

20組 (飼い犬1頭とその家族何人でも) 応募多数の場合は抽選 (見学可)

募集期間

平成23年12月11日(日)～平成24年1月10日(火)

申込み

メールもしくは電話にて受付します (参加無料)

必要事項 ①名前 ②住所 ③電話番号 ④犬の名前・性別・年齢・犬種 ⑤相談したい事

*登録・狂犬病ワクチン済の健康な犬が参加条件

応募先・問合せ 犬の会 ★E-mail アドレス inunokai_1992@yahoo.co.jp

★TEL 080-3670-2284

主催 静岡市【協働パイロット事業】 警察犬と考えよう！犬のトラブル解決法

企画・運営 犬の会 ブログ http://blogs.yahoo.co.jp/wanwan_inunokai

ワンちゃんしつけ教室のお知らせ

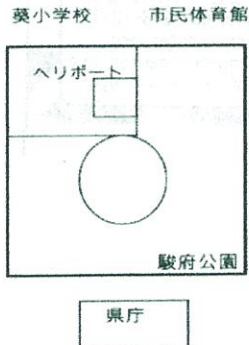
犬の会「ワンちゃんのしつけ教室」にご応募いただき、誠に有難うございました。厳正なる抽選の結果、ご参加頂くことになりましたので、詳細をお送りします。

平成24年1月22日
13:30~15:30
(雨天の場合 2月5日)

駿府公園(ヘリポート北側)

・10分前までにお越しください。

※公園内には駐車スペースはありませんので各自、周辺の駐車場に入れて下さい。



ワンちゃんしつけ教室のお知らせ

この度は、犬の会「ワンちゃんのしつけ教室」にご応募いただき、誠に有難うございました。

大変多くの方から応募をいただき、その中から厳正に抽選させていただいた結果、誠に残念ながら落選となりましたので、その旨を通知致します。なお、警察犬デモンストレーションやしつけ教室の見学は自由です。

☆ワンちゃんしつけ教室
平成24年1月22日
13:30~15:30
(雨天の場合 2月5日)
駿府公園(ヘリポート北側)

※公園内には駐車スペースはありませんので、各自周辺の駐車場へ入れて下さい。

今後、「犬のトラブル解決法」講習会や、動物愛護館にて「仔犬のしつけ方教室」の開催を予定しておりますので、広報をご確認の上、ご参加頂けると幸いです。

☆警察犬と考えよう！-犬のトラブル解決法-講習会

平成24年3月11日

静岡市葵区区役所 17F 会議室

主催 静岡市【協働パイロット事業】企画・運営 犬の会

注意事項

- 欠席・犬の発情の場合、前日までにご連絡下さい。
 - 犬の会スタッフの指示に従って下さい。
 - 貴重品の管理は各自でお願いします。
 - 犬は必ず引き綱を使用して下さい。
 - 伸縮性の引き綱は使用禁止です。
 - 連れてきた犬に関して、全て犬の飼い主の責任となります。
 - 糞の始末、犬同士のケンカ、逃亡、咬むなど
- 主催 静岡市【協働パイロット事業】企画・運営 犬の会
受付 080-3670-2284

当選者用 ハガキ

落選者用 ハガキ

広報しずおか No.0211
SHIZUOKA KIBUN
http://www.city.shizuoka.jp/
発行/静岡市(毎月1日・15日発行) 編集/静岡市市民生活課 広報課
印刷/静岡市印刷局 経営企画部 広報課
〒420-8622 静岡市葵区藤子5番1号

1月1日号
ひと、まち、輝く

広報
1月1日号掲載

ワンちゃん しつけ方教室
～犬と共に幸せに暮らすために～
とき:1月22日(日)午後1時30分～3時30分
ところ:駿府公園
対象:飼い犬(1頭)とその家族20組(無料)
※登録、ワクチン接種済の健康な犬に限る
申込み:1月10日(火)までに、電話で犬の会へ
どうぞ(☎080-3670-2284・多数抽選)
担当:市民生活課(☎221-1265)

犬のしつけ方伝授
市民団体と市
葵区で教室
静岡市は22日、葵区
の駿府公園で犬のしつ
け教室を開いた。飼い
主20組が、愛犬とコミ
ュニケーションを取る
方法を学んだ。
市が市民団体と協働
して地域の問題解決に
取り組む「市協働パイ
ロット事業」の一環。
警察犬の指導士らでつ



愛犬のしつけ方を学ぶ参加者
— 静岡市葵区の駿府公園

くる「犬の会」(行木 飼う佐野政子さん(32)
昌代会長)が教室を企
画・運営した。
2歳6カ月、重さ約
46kgの雄のボルゾイを
使い方や褒め方のアド
の指示のこつを指導士
に質問した。おやつ
の指示のこつを指導士
に質問した。おやつ
の指示のこつを指導士
に質問した。おやつ

静岡新聞
1月23日掲載

バイスを受け「分かれ
やすかった。初めて『お
すわり』ができた」と
笑顔を見せた。

静岡市番町
市民活動センター

かわら版

平成二十三年十二月号

発行：静岡市番町市民活動センター
〒420-0071 静岡市葵区一番町50番地
Tel. 054-273-1212 Fax. 054-273-1213
E-mail: mail@bancho-npo-center.org
URL: http://www.bancho-npo-center.org
指定管理者：静岡県ボランティア協会

其の二六

静岡市からのお知らせ

静岡市【協働パイロット事業】

限定
20組

あなたと犬のきずなは？
警察犬と考えよう！

ワンちゃんしつけ教室

～犬と共に幸せに暮らすために～

日時：平成24年1月22日(日)
13:30～15:30

(雨天の場合は2月5日に延期)

場所：静岡市葵区 駿府公園
(ヘリポート北側)

定員：20組 (飼い犬1頭とその家族何人
でも) 応募多数の場合は抽選 見学可

応募期間：平成24年1月10日(火)まで

申し込み：メールもしくは電話にて受け
付けます (参加無料)

応募先・問い合わせ先：犬の会

★E-mail inunokai_1992@yahoo.co.jp

★TEL 080-3670-2284

【ワンちゃん しつけ教室】 役割分担表

2012.1.22

◆担当者 2人

◆デモ犬 8頭

- ①会場設営スタッフ(コーン&バー)..... 全員
- ②会場案内スタッフ(文化会館側入口).....2人
- ③受付スタッフ 3人
- ④デモ解説者 警察犬デモ・犬種外デモ (各1人)
- ⑤警備スタッフ.....5人
- ⑥実技説明者.....1人
- ⑦実技指導者.....A・ B・ C...(各3人)
- ⑧質疑回答者 2人
- ⑨会場片付けスタッフ 全員

※駐車場(搬入用車両) 6台のみ公園内駐車可
他の車は文化会館駐車場(領収書は会計へ提出)

※デモ出場者は**制服**・その他の者は**黄色ベスト**着用

◆司会進行 ◆会計 ◆記録

時間	担当者	場所	作業内容	用意する物
12:00	担当者集合 スタッフ集合 デモのリハーサル	司会進行係 ①スタッフ全員 (ヘリポート北側) デモ出場者	駿府公園 デモ出場者	・公園入口解錠 ・会場設営 ・受付設置 ・カメラ・時計・水(ペットボトル) ・コーン&バー・立て看板・マイク ・長机3台・救急箱・バケツ ・受付表・参加者カルテ・シール ・アンケート・鉛筆・バインダー ・第3回目チラシ・メガホン・笛
13:00	受付開始	②スタッフ ③スタッフ デモ出場者	文化会館側の橋 ヘリポート北側 デモ出場者	・会場と駐車場の案内(開始時間まで) 立て看残す ・受講者の受付 ・見学者の対応 ・受講者出欠表 ・名前シール ・第3回目のチラシ配布 ・犬の準備 ・道具の準備
13:30	講習開始	開会の挨拶 注意事項説明		・マイク ・マイク
13:37	デモ(警察犬)	④解説者 [出場者] オーラ ツィッタ リザ&小春 カーリン	・デモの解説 ・追及 ・服従 ・選別 ・警戒	・マイク・レジメ ・物品(手袋・ボールペン) ・ダンベル ・選別台・ピンセット・布・かご ・ソデ・ムチ・ロングリード
13:50	実技説明	⑥クラリス	(リーダーウォーク・マズルコントロール等)	・マイク
14:00	実技指導	⑦スタッフ	3グループに分かれて指導	・犬のおやつ
15:15	デモ(犬種外)	④解説者 リリィ&ハロ	・デモの解説	・マイク
15:20	質疑応答 アンケート記入	⑧スタッフ ③スタッフ	・アンケート用紙配布	・マイク ・アンケート・鉛筆・バインダー
15:30	講習終了	閉会の挨拶		・マイク
15:30	片付け	⑨スタッフ全員		・アンケート用紙回収 ・受講者への声かけ ・撤収(会場現状復帰) ・清掃・ごみ片付け ・文房具類は次回担当者へ ・立て看撤収 ・ごみ袋
16:00	解散	担当者	・施錠 (翌日公園整備課に返却)	

ワンちゃん しつけ教室グループ

Aグループ(8)

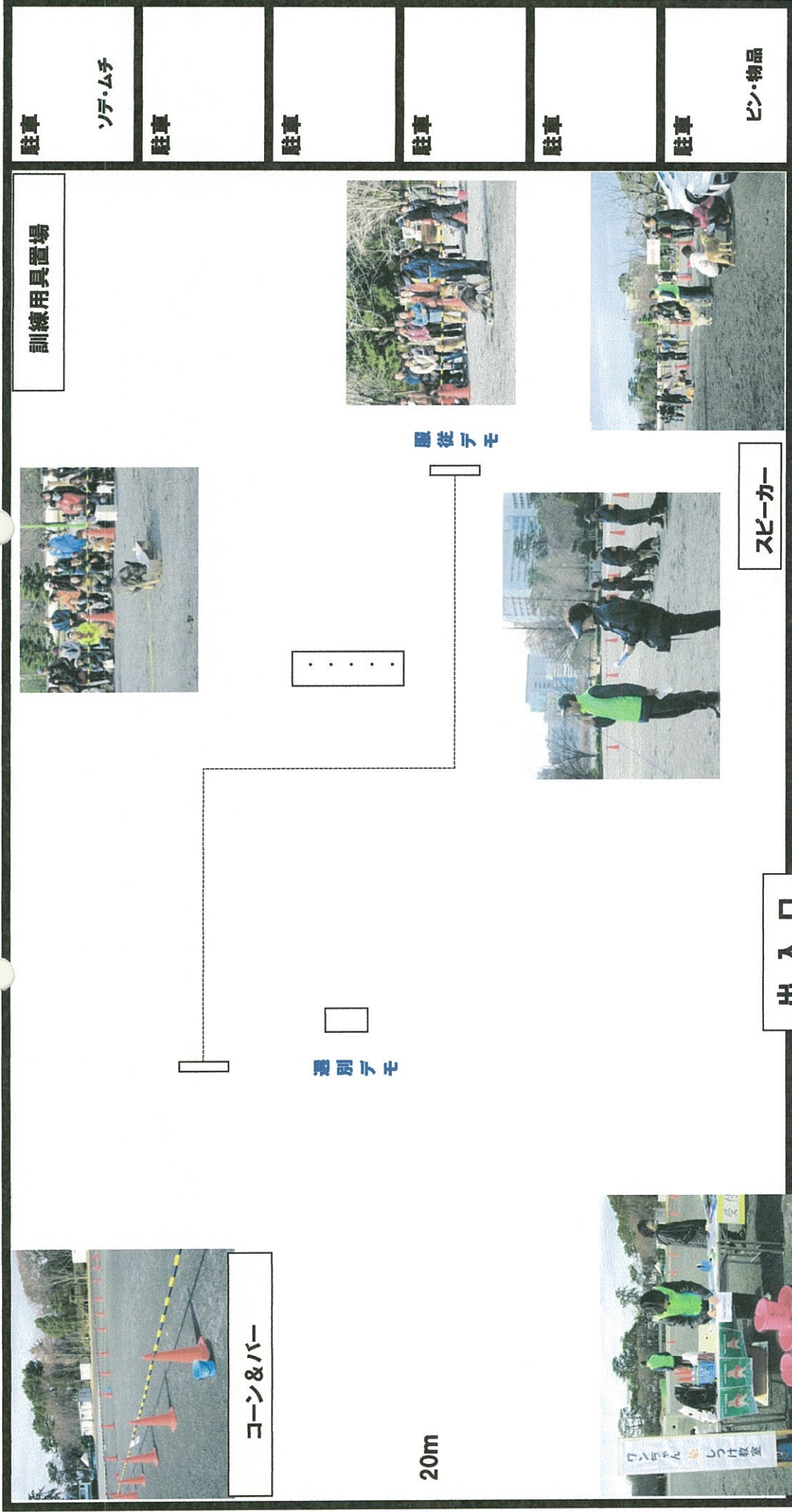
名前	犬種	性別	年齢	備考(相談事)
	パピヨン	♂	1歳8カ月	わがまま
	ポメラニアン	♀	2歳3カ月	ズボンに咬みつく・チャイムに反応
	チワワ	♀	6ヶ月	トイレのしつけ、基本的なしつけ
	M.ダックス	♀	2歳	引っ張り癖・他犬と仲良くなれない
	トイプードル	♂	5ヶ月	無駄吠え
	カニヘンダックス	♂	7ヶ月	マウンティング・社会性・基本的のしつけ
	イタリアングレーハウンド	♂	9ヶ月	吠える・咬む
	豆柴	♀	1歳9カ月	拾い食い・食糞

Bグループ(8)

	コーギー	♀	1歳8カ月	基本的なしつけ(やさしく)
	柴犬	♀	1歳6カ月	基本的なしつけ
	チャイニーズクレステッド	♀	1歳7カ月	拾い食い・基本的なしつけ
	ケアンテリア	♀	4歳	無駄吠え・引っ張り癖・トイレのしつけ
	Mix(ビーグル)	♂	8ヶ月	拾い食い・怖がり・コイ、マテをマスターしたい
	Mix	♀	11ヶ月	散歩時の急な飛び出し
	ビションフリーゼ	♂	7ヶ月	甘噛み
	アメリカンコッカースパニエル	♂	1歳3カ月	足に纏わりつく・引っ張り癖・人間のご飯を欲しがる

Cグループ(7)

	ゴールデン	♀	8ヶ月	引っ張り癖・飛びつき・甘噛み
	ゴールデン	♀	10ヶ月	甘噛み・飛びつき・引っ張り癖
	Mix	♂	6歳	後追い・社会性(保護団体より譲り受ける)
	ボルゾイ	♂	2歳6カ月	マテ・コイ・スワレができない・犬の楽しませ方
	ラブラドル	♀	1歳	飛びつき
	ラブラドゥードル	♀	11ヶ月	引っ張り癖・拾い食い
	ラブラドゥードル	♀	3歳	引っ張り癖・臭いかぐ・他犬に喜ぶ



一般見学場所

土手側



受付

出入口

スピーカー

受講者見学場所

追及会場



会場図



第2回 講習会 ①

【目的】

犬のしつけ教室を通じて、犬の本能や習性を理解するとともに、しつけの重要性に気づいてもらい、それを実践することにより愛犬との豊かな生活を送ってもらうことを目的とする。

【課題】

- ・飼い主が犬のリーダーとなって、犬との主従関係を築く
- ・飼い犬のトラブル(問題行動)の防止
- ・公共の場でのマナーや周囲への配慮 (他人に迷惑をかけないようにする)
- ・災害時、緊急時に対応したクレートトレーニング

プログラム

13:00 受付開始

—《参加者》 23組(犬1頭とその家族) 53名 《見学者》 157名—



受付に並ぶ受講者たち

《会場》 駿府公園内 ヘリポート北側

3つのグループに分けて受付

A(小型犬) …トイプードル・チワワ・パピヨンなど 8頭

B(中型犬) …柴犬・コーギー・ビーグルなど 8頭

C(大型犬) …ラブ・ゴールデン・ボルゾイなど 7頭

合計 23頭

開催場所が公園ということもあって、一般の見学者の犬もいるため、また初めての犬同士が出会うため、事故がないように十分な準備を行った。専任の警備係(5名)を配置し安全第一を心掛けた。危険や注意を促すためのメガホンと笛を持ち、侵入犬や逃亡犬に備えて水を張ったバケツや自転車なども用意した。保険にも加入し、外科医や獣医の当番医も把握し、救護人も事前に決めて万全の体制を取った。



受付表



当番医表



会場をコーン&バーで囲む



公園入口の看板

第2回 講習会 ②

13:30 講習開会

社団法人日本警察犬協会静岡県中部支部副支部長でもある犬の会会員より、今回のしつけ教室の意義や犬の会の成り立ちの紹介を含む開会の挨拶を行った。また、講習の概要説明と注意事項の説明も行った。

開会の挨拶 & 概要説明



13:37 デモンストレーション (警察犬)



足跡追及

人間の足跡臭を警察犬に追跡させ、犯人の遺留品の発見や行方不明者の発見を目的とする。真摯に作業を行う警察犬を真剣に見つめる見学者が印象的だった。



服従作業

犬に、誰がリーダーであるか教えて主従関係を築くことを目的とする。飼い主のコマンド(指示)によって必要な動作を犬に身に付けさせる作業。訓練の基本となる。この後行う実技指導の模範演技として披露。



臭気選別

犯行現場の遺留品と犯人の結びつき(異同識別)を立証することを目的とする。受講者に犯人役になってもらってにおい付けをしてもらう。正解する警察犬に見学者から拍手。



警戒作業

指導手の命令に従って行動し、隠れている犯人の発見や犯人への襲撃を行い、犯人の逃亡を阻止するための作業。迫力ある警察犬の演技に見学者たちから歓声上がる。

しつけの実技指導前に警察犬のデモンストレーションを見ていただくことで、犬の高い能力を再認識してもらい、自分の犬にもその能力があることに気づいてもらってしつけへの意欲を高めてもらいたいと考えて行った。

第2回 講習会 ③

13:50 実技前説明 「犬との接し方」 ～愛犬とのきずなを深めよう～

犬は群れで生活する動物のため、強いリーダーに服従する本能があり、飼い主が信頼できるリーダーになることで、安心して平和な暮らしができると言われています。

下記の3つ方法はそのような犬の本能や習性を生かし、犬の服従本能を高めて主従関係を築く効果があります。実際に犬を使ってわかりやすく説明を行うことで、実技指導での受講者の実践につなげることができた。

リーダーウォーク



飼い主が主導権をとって歩いて犬にリーダーが誰かを理解させる

マズルコントロール



犬を背後から抱え込んで、口を触り犬の動きをコントロールする

タッチング



飼い主が犬の体のどこを触っても抵抗しないようにする

14:00 実技指導 開始

Aグループ (小型犬)



Bグループ (中型犬)



Cグループ (大型犬)



3つのグループに分かれて指導…1グループ (7~8頭) に指導者各3名が対応

実技指導では、小型犬・中型犬・大型犬の3グループに分かれて行った。個体の大きさだけでなく特性の違いもあるため、指導が理解されやすいように考えた。担当者は犬種ごとの特徴や性質の違いなど質問を通して見極めた上で、それぞれの犬に合った指導を個々にきめ細かく行われた。

参加者全員が「役に立った」と評価して「今後も実践したい」と答えている。この実技指導が参加者にとって大変有意義なものとなったと言える。

第2回 講習会 ④

犬を左側につけてリーダーウォークに励む熱心な受講者たち



犬への接し方が変われば犬も変わることを実感する受講者たち



担当者が分かれて指導



一人ひとり相談に応じる担当者



家族総出で参加する受講者



見学者からも注目を浴びる



しつけには一貫性をもつことが大切



「コイ」の命令に喜んで従う参加犬

1時間15分の実技指導では、それぞれの犬に合った指導が熱心に行われた

第2回 講習会 ⑤

15:15 デモンストレーション（家庭犬）

クレートトレーニング



「ハウス」のひとつで喜んで入るデモ犬

クレートトレーニングは、しつけの延長線上に位置づけられている重要なトレーニングである。多くの飼い主がクレートに犬を入れることはかわいそうと誤解し、抵抗があるようだ。クレートは犬が安心してリラックスできる場所であって、日頃からトレーニングしておけば緊急時や災害時にも役立つと、クレートトレーニングの必要性を説明した。



家庭犬の模範演技



受講後アンケートを記入する受講生たち

15:30 講習終了

講習終了後に質疑応答を行い、閉会の挨拶にてしつけ教室終了とした。2時間という短い時間ではあったが、受講者全員が意欲的に取り組み、実りの多い講習となった。



閉会の挨拶